

2016年度友愛労働歴史館事業報告

友愛労働歴史館は年間を通し、Ⅰ 展示会・講演会活動、Ⅱ 資料の収集・管理作業、調査・研究活動、Ⅲ 情報発信・PR活動などに取り組んでいる。

Ⅰ 展示会・講演会活動について

友愛労働歴史館は主な活動の一つとして展示会（常設展・企画展）活動と、これに連動した講演会活動に取り組んでいる。

1. 展示会（常設展・企画展）活動

友愛労働歴史館は展示会活動として、常設展と企画展（年2回）を開催している。常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟(戦前)を中心とする」は、2012年8月1日のオープン以来、原則同一内容で開催している。しかし、2017年1月6日に一部の展示をリニューアルした。

企画展は2015年12月7日から2016年5月31日の間、企画展「全文協結成から60年、その今日的意義を探る」を開催。また、6月6日から企画展「総同盟結成から70年—いま労働組合主義について考える—」をスタートし、12月22日まで開催した。

2017年1月6日からは、友愛会ゆかりの内ヶ崎作三郎の生誕140年・没後70年を記念し、企画展「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」(2017.01.06～06.30)を開催している。企画展では、早大教授・ユニテリアン教会牧師・政治家として生きた内ヶ崎作三郎について、著書や写真、解説パネルなどで展示・紹介している。

また、7月からは賀川豊彦記念松沢資料館と連携し、企画展「賀川豊彦と友愛会 パート1」(仮題)を開催する。

友愛労働歴史館の入館者数は2016年4月112名、5月115名、6月47名、7月24名、8月125名、9月114名、10月54名、11月92名、12月155名を数え、2017年1月92名、2月65名で、計995名となった。これにより2012年8月1日の新装オープン以来の延べ入館者数は、本年2月末現在で6910名となった。

<友愛労働歴史館企画展>

①「全文協結成60年」展

と き：2015年12月7日（月）～2016年5月31日（火）

ところ：友愛労働歴史館・展示室

テーマ：企画展「全文協結成から 60 年、その今日的意義を探る」
内 容：第 1 部「新しい国民文化の創造をめざした全文協—全文協略史—」
第 2 部「民主的労働運動と文化活動—友愛の心とレクリエーション—」
第 3 部「よび合うこだま運動、全文協文化リーダー研修会、全文協劇団こだま」
第 4 部「大阪全文協—その歴史と活動—」

②「総同盟 70 年」展

と き：2016 年 6 月 6 日（月）～2016 年 12 月 22 日（木）
ところ：友愛労働歴史館展示室
テーマ：企画展「総同盟結成から 70 年—いま労働組合主義について考える—」
内 容：第 1 部「総同盟を中心として日本労働運動略史」
第 2 部「労働組合主義とは—ウエップ、レーニン、齋藤健一の労働組合論—」

③「内ヶ崎作三郎」展

と き：2017 年 1 月 6 日（月）～2017 年 6 月 30 日（木）
ところ：友愛労働歴史館展示室
テーマ：企画展「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」
内 容：第 1 部「その生涯—内ヶ崎作三郎」
第 2 部「牧師—内ヶ崎作三郎」
第 3 部「政治家—内ヶ崎作三郎」

2. 講演会活動

企画展と連動させた講演会を労使関係研究協会と共催しており、2016 年に以下の講演会を開催した。

①名 称：「全文協」展連動講演会

と き：2016 年 5 月 13 日（金）15：00～17：00
ところ：友愛労働歴史館・研修室
テーマ：「全文協劇団こだま—そのめざしたもの—」
西田 了 舞台演出家
「全文協と文化運動、レク活動—川崎堅雄の提起したもの—」
間宮悠紀雄 元全文協事務局長

②名 称：社会民衆党結成 90 年記念講演会

と き：2016 年 12 月 5 日（月）15：00～17：00
ところ：友愛労働歴史館・研修室
テーマ：「安部磯雄と西尾末廣—社会民衆党結成 90 年」 梅澤 昇平 氏

II 資料の収集・管理作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は、年間を通して資料の収集を行っている。また、必要な調査・研究活動に取り組んでいる。

1. 資料の収集・管理

2016年4月に西田了氏（舞台演出家）から全文協関連資料の寄贈を受けた。6月に越智俊之氏（元全文協副会長）から大阪全文協関連資料の、また同月に旧同盟関係者から同盟・労働運動の関連資料の寄贈を受けた。9月に旧民社学同関係者2名から、民社学同関連資料と社会運動関連書籍の寄贈を受けた。

今まで個人・団体から寄贈を受けた資料が未整理状態にあり、友愛労働歴史館倉庫（友愛会館地下1階、同2階）に保存されている。通年を通し、これらの資料の整理作業に取り組んでいる。

2. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は、常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」、「政治・社会運動史研究会」の二つの常設委員会を設置し、調査・研究活動を行っている。2016年度は、以下の研究会を開催した。

①「第8回政治・社会運動史研究会」

名 称：「民社党時代を語る—共通テーマ—」

と き：2016年4月25日（月）15：00～16：30

講 師：荒瀬修一郎 氏 元民社党中執・元核禁会議事務局長

と ころ：友愛労働歴史館・研修室

②「第9回政治・社会運動史研究会」

名 称：「民社党時代を語る—共通テーマ—」

と き：2016年6月13日（月）15：00～17：00

講 師：大木 明石 氏 元一般同盟会長・前労使関係研究協会会長

と ころ：友愛労働歴史館・研修室

③「第10回政治・社会運動史研究会」

名 称：「民社党時代を語る—共通テーマ—」

と き：2016年7月15日（金）15：00～17：00

講 師：上條 末夫 氏 元駒澤大学教授・元政策研究フォーラム事務局長

と ころ：友愛労働歴史館・研修室

④「第11回政治・社会運動史研究会」

名 称：「民社党時代を語る—共通テーマ—」

と き：2016年9月6日（火）15：00～17：00

講師：黒沢 博道 氏 元民社党本部・元富士社会教育センター

⑤「第12回政治・社会運動史研究会」

名称：「独立青年同盟の結成と排撃」

とき：2016年11月22日（火）15：00～17：00

講師：堀内慎一郎 氏 日本政治学会会員、慶應義塾大学大学院

⑥「第13回政治・社会運動史研究会」

名称：「同盟、民社党を振り返って」

とき：2017年2月21日（火）15：00～17：00

講師：池畑 英雄 氏 元同盟本部、元民社党本部

Ⅲ 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館はインターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信、ホームページでの情報提供・PRなどに取り組んでいる。また、研究者・学生らへの相談対応、資料提供などに取り組んでいる。

1. メールレポート「友愛労働歴史館たより」

メールレポート「友愛労働歴史館たより」第105号を、2016年4月26日に発信した。その後、5月24日、6月14日、7月26日、8月10日、8月22日、9月23日、10月25日、11月24日、12月22日、2017年1月26日、2月23日に「友愛労働歴史館たより」第106号～第116号を発信した。また、Eメールを活用し、必要な情報をメールアドレス登録者に随時、発信している。2017年2月末現在のメールアドレス登録者は約950名である。友愛労働歴史館 Eメールアドレス yuairekishikan@rodokaikan.org

2. 友愛労働歴史館ホームページ

友愛労働歴史館は情報提供用にホームページ <http://www.yuairekishikan.com> を開設しており、随時更新している。

3. その他

①非公式ツイッター（@yuairekishi1912）の開設

友愛労働歴史館の非公式ツイッター（@yuairekishi1912）を開設、随時更新し、情報を発信している。

②コミックマーケット90への参加

2016年8月14日、友愛労働歴史館はコミックマーケット90（2016.08.12～08.14。東京国際展示場・東京ビックサイト）に初出店し、グッズ販売や友愛労働歴史館のPR・情報提供に取り組んだ。コミケ90用に制作した①日本労働会館ポストカード（5枚セット300円）、②三色ボールペン（3本セット500円）は、通年販売している。

IV その他

- ①2016年8月1日（月）11：00～11：45、友愛会創立を記念する会の記念事業の一環として、「友愛会を支えた人々」をテーマに友愛会創立記念労働講座を開催した。講師は芳賀清明氏（労働運動史研究者、友愛労働歴史館研究員）。
- ②NPO 法人働く文化ネット（総評会館）の労働映画鑑賞会（毎月1回・第二火曜日）に参加、協力している。
- ③社会・労働関係資料センター連絡協議会の活動に参加している。2016年度総会は12月1日～2日・立教大学（東京）で開催された。